

岩富寺(岩富城)
約1350年前の斉
明6年創建と言われる、
市内最古の古刹。亀城
以前の佐貫城という説
もあり、「鶴城」と呼ば
れることがある。戦時の
空襲で大半が消失した。



岩富寺(岩富城)
約1350年前の斉
明6年創建と言われる、
市内最古の古刹。亀城
以前の佐貫城という説
もあり、「鶴城」と呼ば
れることがある。戦時の
空襲で大半が消失した。

江戸昭和語り継ぐ未来へ

佐貫城

城下町

佐貫の町には、江戸時代に築かれた
亀城と呼ばれる城があった。
町の中心を道沿いに流れる関山用水は、
かつて佐貫・亀田・大坪の田畑を潤し町を
繁栄させた。

昔ながらの面影が残る町並みをめけると、
鹿野山に続く山道へと向かう。
町並みとともに移り変わる時代を感じ
ながら、先人が旅した軌跡をたどります。
参考文献 宮誠治著「城下町 上総国佐貫」

佐貫城(亀城)

戦国時代に真里谷武田氏が最初
に築いたと言われ、後に里見氏が
支配下に置いた。徳川家が関東に
入ると、譜代の内藤家長が城主と
なる。その後は桜井松平氏・能見
松平氏が治め、柳沢吉保が継いだ
が、一時期廃城となる。江戸中期
から阿部氏が城主となり、明治4
年の廃藩置県までの162年間にわ
たって佐貫藩を治めた。

町を走るバス

昭和の時代、観光客を乗せたボ
ンネットバスが町を走り、駅前には
観光客を乗せ鹿野山へ向かう。

城跡と町並みは、江戸昭和の当時の様子をイメージした
想像画です。一部の現存する建物以外は、実際の町並みや道
と異なります。手書き青文字の建物は現在営業していません。
また、城跡に建物はなく、当時の石垣が残っています。



関山用水
江戸後期、相次ぐ日照りで農民
は水不足と稲の減収に悩んだ。そ
こで、鹿野山下の関山の湧き水を
耕地に引こうと用水路を計画した。
関山口の谷間には巨大な樋を架け、
佐貫城の三の丸下に水路を通すと
いう難題は阿部氏の理解で許可が
下り、村役人と農民の涙ぐましい
熱意と苦勞の末、用水路は完成し
た。昭和11年に、樋樋を架けた近
くに記念碑が建てられた。

天保5年創業の老舗醤油
店。国登録有形文化財に
建物9件が指定されている。
江戸末期に建てられた店蔵
をはじめ、明治・大正期に
建てられた集約的な建築物
として貴重な存在である。

佐貫城下の入口で、江
戸時代には熊野神社前に
大木戸があった。近くに
左右一対の大イチョウが
植えられ、熊野神社側の
木は今も残っている。

ばあさんのふところ
染川沿いの段々になっ
ているこの場所は、日当
たりが良くとても暖かい。
「おばあちゃんのふとこ
ろのようだ」と、地元の人
からこう呼ばれている。

